

～今改めて 「温泉を活用した健康増進」 を考える～

主催者ご挨拶

日本健康開発財団は、本年で設立 50 周年を迎えることができました。この間、ご指導ご支援いただきました全ての皆様に、この場を借りて御礼申し上げます。今回のシンポジウムでは、様々な立場で活躍されている専門家の方々をお招きし、健康増進のための温泉のさらなる活用方法や課題について意見交換を行います。

温泉関係の方のみならず、ご興味のある多くの方々のご視聴をお待ちしております。

一般財団法人日本健康開発財団
代表理事 理事長 加藤 典嗣

1974 年に「健康増進・回復を図るための温泉療法・気候療法等の自然環境を利用した健康増進プログラムの開発・研究」を目的に日本健康開発財団が設立されて 50 年。以来、様々なかたちで「温泉」と「健康増進」をテーマとした調査研究や事業に取り組んで参りました。いま改めて、「温泉を活用した健康増進」について、国内における取組の歴史を振り返るとともに、先進の事例報告と共に、将来に向けた活用方法について考えます。



2024 年 11 月 8 日 金 14:00 ~ 16:00

オンライン配信
無料・事前申込制

① 基調講演：「温泉療養」のこれまでとこれから

早坂信哉（日本健康開発財団温泉医科学研究所所長・温泉療法専門医）

② 事例報告とパネルディスカッション

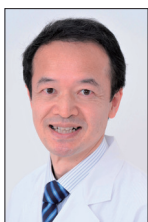
⇒ 白井香苗氏（JTB 総合研究所研究員（ウエルネス・ヘルスツーリズム））

⇒ 水谷康代氏（北海道豊富町・豊富温泉ふれあいセンター健康相談員）

⇒ 山崎まゆみ氏（温泉エッセイスト / 跡見学園女子大学兼任講師）

⇒ 後藤康彰（日本健康開発財団主席研究員）

▶ コーディネーター：早坂信哉



■早坂信哉（はやさか・しんや）

温泉療法専門医、博士（医学）、東京都市大学人間科学部教授。
地域医療の経験から入浴の重要性に気づき、25年にわたって3万人以上の入浴を調査した、お風呂や温泉に関する医学的研究の第一人者。
著書『おうち時間を快適に過ごす入浴は究極の疲労回復術』、『最高の入浴法』、『入浴検定公式テキスト』など。

申込方法

ご視聴ご希望の方は、
下記 URL よりお申し込みください。
後日、視聴用 URL を発信させていただきます。



<https://reg34.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=mbrc-mcraki-88e21dabc718a134cbd7c48064fb0081>